

北極星

治療院紹介

北海道鍼灸ワッサージ柔整協同組合の
組合員様の治療院をご紹介します！



鍼灸治療院 欣(しん)

鍼灸治療院 セラピア

留萌市で地域に根ざした鍼灸ケアを提供する「鍼灸治療院 欣」。西楚院長は札幌で学んだ後、中国・湖南省中医薬大学へ3年間留学し、2008年に地元で初回の訪問専門の鍼灸院を開業。2014年からは来院治療にも対応しました。完全予約制で、一人ひとりに丁寧な説明と安心感のある施術を心がけ、近隣住民からの信頼も厚く、親子三代にわたる来院や、鍼灸師を志す患者も現れました。青年会議所や商工会議所での地域活動、夏祭りや町内会との関わりも深く、「困ったところ」と頼られる存在です。キャリアコンサルタント資格も活かし、身体だけでなく心のケアにも寄り添う治療院として、今日も留萌で優しいあかりを灯しています。

札幌市中央区にある「鍼灸治療院セラピア」は、はり・きゅうをはじめ美容鍼、刺絡療法、ビロの葉温灸、訪問診療まで幅広く手がける治療院です。地下鉄大通駅から徒歩3分の好立地にあり、近隣のオアシスワンカーがリラクゼーションやストレッチを求めていることも多く、自律神経の改善を旨とする施術も好評です。丁寧なヒアリングと的確な治療計画で信頼関係を築き、紹介による来院も増加中。若い世代の支持も厚く、最近では20・30代の男女の来院も目立ちます。

新しく制作したロゴマークには、東洋医学を通じて安心を表現。心と身体のパラメータを整え、自然な笑顔を引き出す空間として気軽に立ち寄れる『まの癒しスポット』として親しまれています。

●院長／西楚 弘樹 ●電話／0164-42-5584
●住所／留萌市錦町2丁目3-1

●運営／株式会社BIOce
●院長／大山 祐哉 ●電話／011-272-3190
●住所／札幌市中央区大通西6丁目6-9 クリーンハイツ405

発行所
北海道鍼灸
ワッサージ柔整
協同組合
編集発行人／吉田 孝雄
札幌市中央区南1条
西13丁目317-3
フナコシヤ南1条ビル3F
電話(011)213-1033
FAX(011)213-1034
E-mail:hokushinkyjo
@dolphin.ocn.ne.jp
hokushinkyjo.jp
北鍼協

柔整シセプト発行システム 黒帯三四郎

Webページ製作
予約システム
好評受付中！

鍼灸シセプト発行システム Hailey

日本一タスシステム株式会社
JAPAN TOTAL SYSTEM CO., LTD.
0120-076-187



印章・各種ゴム印・名刺・印刷・ デザイン他なんでも！

はんこ・ゴム印も



診療券の印刷も

No. _____
氏名 _____

9:00 14:00
12:00 17:30

月 火 水 木 金 土

※日曜・夜日はお休みします

似顔絵制作も

詳しくは
ホーム
ページへ！

QRコード

株式会社 **ハタ印屋** TEL(011)621-9012
札幌市中央区北4条西19丁目

償還払いと受領委任払いについて

療養費等サポート委員 理事 崎山 貴史
札幌リハ記念整骨院 院長

療養費の原則は「償還払い」であるが、これは通院における患者側の負担が大きくなるため、国は一定の要件を満たす柔道整復師に対し特例的に「受領委任払い」の取り扱いを許している現状である。しかし、一定期間内の施術回数やその他の要件に該当する場合は保険者の判断により、以降の施術における償還払いの変更を通告される事例がある。

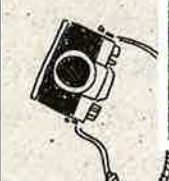
例えば、自己施術（柔道整復師による自身に対する施術）や自家施術（柔道整復師による家族に対する施術）または関連施術所の開設者及び従業員に対する施術が繰り返されている場合、保険者等が患者照会を繰り返して行っても回答しない場合、複数の施術所において同部位の施術を重複して受けている場合、長期かつ頻回な施術を継続して受けている場合などがこれに該当する。「受領委任払い」から「償還払い」への変更は、患者さんの名義に大きく関わることも、当該施術所

みんなの Photo Gallery アルバム

今回の撮影者／堀口 恭弘
9月15日 上ノ国町にて熊と遭遇した時の写真です。美味しそうにオオハシコンソウの葉を食べていました。



こちらのコーナーでは、皆様からの写真投稿を募集しております。組合で受け付けていますので、とっておきの1枚をぜひお寄せください。ご参加お待ちしております！



の信頼を失墜させる可能性がある。

詳しくは「令和7年度版 療養費の支給基準」をご拝読いただき、理解を深めてもらいたい。



2025年は若年層の利用率が増加

「鍼灸・接骨院に関する利用実態調査2025」(アンケート)より

今回は、リクルート社が発表した『鍼灸・接骨院に関する利用実態調査2025』について、『鍼灸系整骨新聞』

「2025年」をのちとめてお伝えしたいと思います。

「保険適用なし」での「接骨・整骨」10代の「若年層」の利用が広がる

株式会社リクルートの美容に関する調査研究機関・

ハットペーパービューティーアカデミーが4月中旬に

行った『鍼灸・接骨院に関する利用実態調査2025』

によると、この1年以内に「あん摩・指圧」「鍼灸」「接骨・

整骨」のいずれかを利用した割合が「14.5%」で前

年調査より1.5ポイント減少したと報告しています。

調査は、全国の15歳から64歳までの男女5500人

にインターネット上で実施され、各施術の中で最も利

用が高かったのは「接骨・整骨」の8.7%で、特に10

代で利用率(前年比1.8ポイント増)が伸びています。

療養費(健康保険)の有無に関する質問もあり、「保険

適用なし」での利用率は10.5%とほぼ前年並みで推

移しましたが、同じ10代で2ポイント以上の増加が

みられるなど、若年層での利用が広がっていることがわ

かりました。また、「保険適用なし」で施術を受けた20

歳から64歳までの男女各1000人を対象とした利用

実態の調査も併せて公表され、1回あたりの利用金額

(平均)において、最も高かったのは「鍼灸」の741

3円。次いで「あん摩・指圧」の6573円、「接骨・整骨」

の5599円。中でも20代が7000円〜8000円台

と平均を上回る利用金額となっていました。

「利用した理由」は以下のとおりで、

- 心身がいつしついでできる・癒される (37.0%)
- 自分の体質・体調に合わせて適切に施術してもらえ
- すぐに効果を感じられる (31.2%)
- 症状を根本から改善することができる (25.2%)

さらに「具体的な利用目的」の問いには

- 頭痛・肩や首の痛み、腰痛などの解消 (38.5%)
- 体のメンテナンス (33.0%)
- 姿勢改善・ゆがみ矯正 (30.5%)
- 疲労蓄積・体のだるさの解消 (28.7%)
- 自律神経の乱れ解消 (17.8%) など。

40代から60代までは身体ケア目的での利用が目立ち、

30代では前年より「眼精疲労の解消」が大きく増加し、

仕事でもプライベートでもPCやスマホを利用する時

間が長いことが増加の要因ともいえます。

2025年市場規模 全体は8.4%減の3947億円 女性市場は21%減

回社では今回、あはき系整の「保険適用なし」の市

場規模に関する推計値も示しており、2025年の全

体としては前年比8.4%減の3947億円、女性市場

は前年比21%減の1734億円に対し男性市場は前年

比4.5%増の2213億円となっています。

施術別の内訳は「あん摩・指圧」は1243億円(前

年比3.9%減)、「鍼灸」は1331億円(同10.5%減)

「接骨・整骨」は1373億円(同10.3%減)

となっています。

前年比21%減少した女性市場をみると、最も大きい

のは「接骨・整骨」で6573億円。内訳は「接骨・整

骨...6573億円(前年比1.8%減)、「鍼灸...630

億円(同1.8%減)」「あん摩・指圧...447億円(同

21%減)」で、全体的に縮小したのは、特に20代女性か

らの縮小は一時的なもので、女性全体の美容や健康意

識の高まりや、「自分の体と丁寧に向き合いたい」とい

うニーズが高まっていることを背景に今後の拡大を見

通しており、中でも期待されるのは、体の歪みの矯正

や体質改善など、根本から身体にアプローチする施術で

これらのあはき系整の特性と近く、市場拡大を後押しす

ると見られています。

若年層の取り込みについては「あはき系整は青年年齢層

向けのサービスといったイメージを持たれることもある

が、20〜30代の「保険適用なし」での利用率は高く、美容・

健康面の課題解消(肩こりや冷え、体形の変化など)に

対するニーズを取り込む余地は大きいと感じている」

とし、ネット検索やオンライン予約が当たり前の世代で

あることも作用し、「オンライン検索やSNS活用などで

さらなる市場の広がりが期待できる」と思っています。

男性市場の拡大については健康・美容意識の高まりが

背景にあり、「接骨院・整骨院はエスナサロンなどに比

べて入りやすい雰囲気があるため、男性が気軽に足を運

びやすい環境であることも一因」になっているようです。

非利用者へのアプローチ 特に30代がターゲット？

最後に2025年非利用者のアンケート結果(半数)

うつ)を占めた。過去3年の推移はあまり変化は

見られませんが、30代の利用意向が最も高い結果が出て

おり、男女ともにこの年代をターゲットにしていくとま

だまだ施術利用率の伸びにつなげるかもしれません。

まためは以上となりますが、あはき系整は主な利用目

的が「症状が出てからの施術」から「癒しやアフershio

ななどを求める施術」に変化してきていることが表れた結

果であるともいえます。記事にも記載がある通り「身体

的な施術イメージがわからない」や「高齢者が通うといっ

たイメージ」をもち人たちはSNSなどを使って施術

所単体で情報発信することで利用率を上げることができ

ると思いますが、大阪・関西万博で多くの来場者が鍼灸

を仮想体験した『VR鍼灸治療体験』に見られるように、

最新技術を使って伝えていくことも業界全体のイメージ

を理解してもらった新たな試みの一つだと思いました。

広告等の規制が厳しくなってきたと思いますが、現在のこ

紙面でも連載している『生感AI』でなくにも、『参考考

にAIに挑戦し集客アップを目指してみるのはいいかも

しれません！

あはき系整の利用意向(非利用者)(各施術非利用者／単一回答)

Q.「あん摩・指圧」「鍼灸(はりきゅう)」「接骨・整骨」を受けてみたいと思いますか？

年代別	【接骨・整骨】			利用意向 あり・計
	ぜひ受けてみたい	機会があれば受けてみたい	あまり受けたくない	受けたくない
2023年_男女計 (n=4,971)	10.9	32.5	18.8	37.8
2024年_男女計 (n=4,996)	11.0	33.1	19.6	36.4
2025年_男女計 (n=5,020)	9.3	33.1	18.5	39.1
15〜19歳 (n=452)	14.8	30.1	14.2	40.9
20代 (n=897)	13.6	30.3	11.9	44.1
30代 (n=906)	12.8	35.7	15.1	36.4
40代 (n=916)	8.8	37.2	18.1	35.8
50代 (n=920)	5.9	36.2	24.5	33.5
60代 (n=929)	3.1	27.7	24.5	44.7

※リクルートポットベック・ビューティー調べ

編集後記

先月年賀状が売の出され、発行枚数は10億7千万枚と20年前に出比4分の1に減ったそうです。スマホなどの普及でいつても繋がっている環境が当たり前の世の中において、あえて年賀状などの挨拶を必要としなすということでしょうか。新年に届く年賀状を楽しみに何度もスマホを覗いたことが今は懐かしく思われます。

さて今年もあと1か月あまり。次号は来年1月発行予定です。来年も変わらなすようにお願いいたします。